

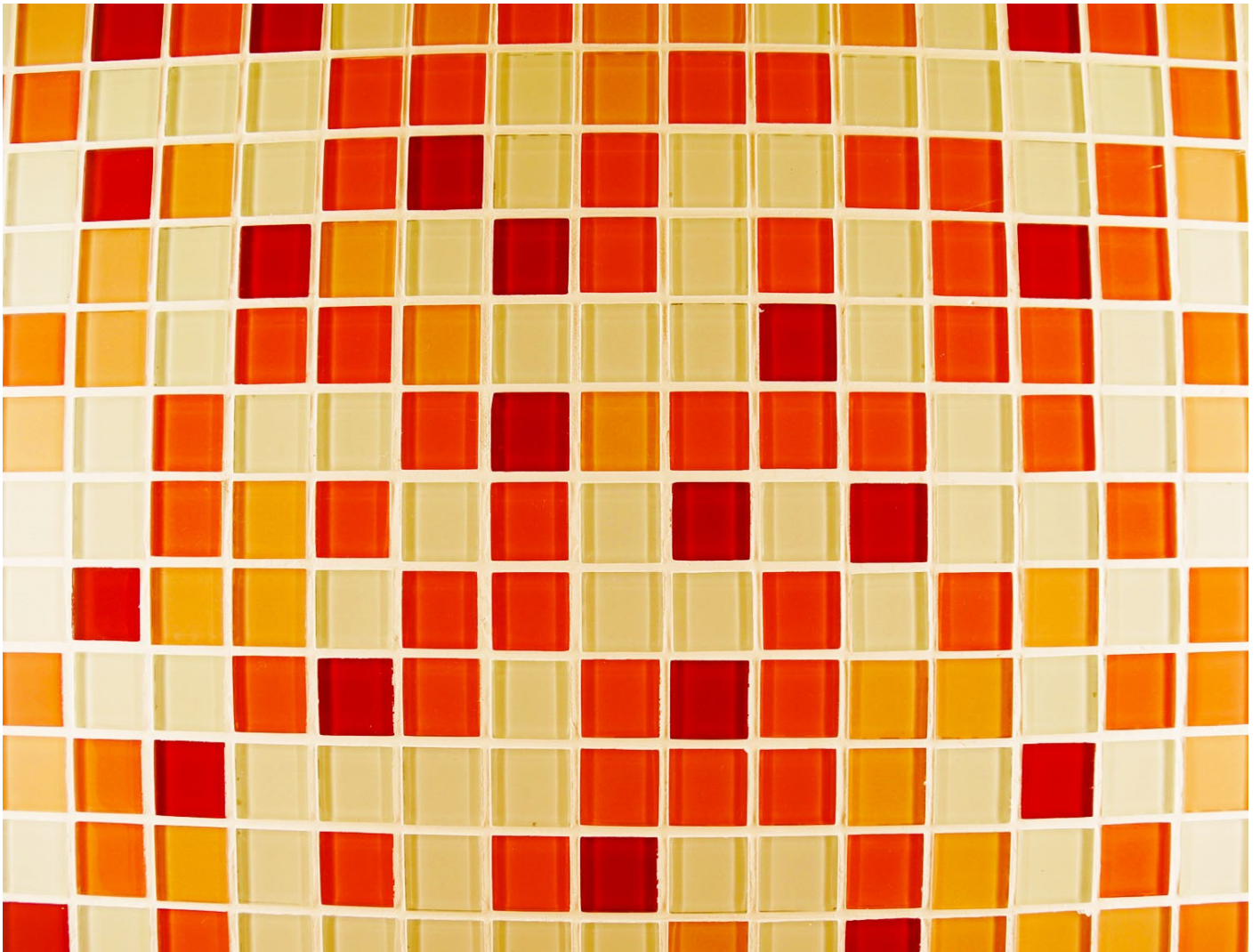
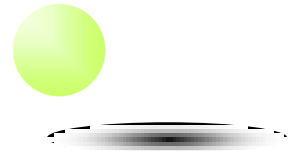
# 美歴だより

## 諫早市美術・歴史館だより

CONTENTS

館長のつぶやき	2
BIREKI・レポート	3
いさはやの民謡	4
いさはやの歴史	5
美術の部屋	6
古文書の部屋	7
お知らせ	8

Isahaya  
Museum of  
Art & History  
Museum News  
Vol.13



カワイイと人気の「トイレの壁」様。女神様もいるんやで。

## 館長のつづやき

### 今の昔話を聞く

▼恒例の「館長講座」のネタ探しにあちこち歩き回っていると、いろいろ耳にする。

▼ある時、諫早の石についてもう少し詳しく知りたいと思い、まずは小長井の某石材所を訪ねた。小長井の石材と言えば帆崎石が有名である。帆崎石については佐賀・武富家との深い関係や高城神社の鳥居はじめ諫早の多くの鳥居が武富儀平により帆崎石で作られ、大坂城、佐賀城の石垣にも使われたことは、小長井町郷土誌、諫江百話等でも紹介されている。しかし、石材会社の社長は、往時の小長井の基幹産業であった石材業も今やかなり衰退している現状や国内産石材の在り様についてしみじみ語ってくれた。諫早の宝であり利活用など今後の係わり方等については改めて知恵が必要だ。

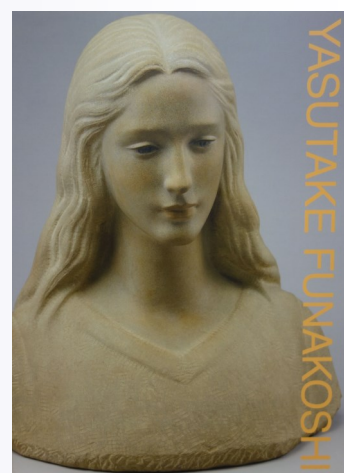
▼石材と言えば諫早石についても業者を訪ね、しつこく尋ねた。諫早石とは小川地区、いわゆる小ヶ倉ダム周辺から採れるものをいうことを初めて知った。そして諫早石は砂岩ではあるが硬い軟らかいがあり、公園や歩道で適材適所使われるという。特に長崎西坂の「二十六聖人殉教者像」の制作者としても有名な岩手県出身の彫刻家・船越保武氏は諫早石の特性を理解し、諫早石で人物像を彫られた。特に1980年に制作の「聖女セシリア」（写真右上）は第二の代表作といえようか。諫早石は長崎平和公園の敷石にも諫早商工会議所、佐世保の親和銀行本店の壁面にも使われているという。もちろん諫早

市内の歩道の敷石にも用いられ、諫早石の価値は知るほどに「<そうだったんだ>」と気付かされる。

▼以前、諫早競馬場の取材をしていた時、某老人ホームの入所者から「終戦直前の昭和20年8月、

長崎の原爆で死傷した方が諫早駅に着いた時、怪我の人は学校の講堂に既に亡くなった方をリヤカーに載せて競馬場に運んだよ、木の柱を井桁に組んでその上に載せて…」とポツポツと語ってくれた。歴史の裏の部分であるが今の昔話か。もしかすると富川大雄寺の五百羅漢像についての語り部が出てき昔話になるかも。

▼「昔むかしあるところに…」で始まる一寸法師、桃太郎など昔話は具体的事象を比喩的に、しかも子供が分かる方法で伝えられているし、今日でも根強く伝承されている。近年の種々の出来事はそうした昔話とは異なるが、諫早にも大亀の話、大鯰の話をはじめ干拓のこと、眼鏡橋造営のこと等を題材にした昔話も残されている。今日の視点で「そんなことあったげな」と語り伝えて行ける新昔話を一生懸命見つけて行きたいものだ。



「船越保武—まなざしの向こうに」  
(株)求龍堂

# BIREKI・レポート

VOL.4 ついに！ 諫早市美術・歴史館公式Instagram開設！



## Instagram はじめました

昨年11月より、写真や動画を共有できるソーシャルネットワークサービス・Instagramを美術・歴史館でもはじめました。

利用案内や日々の様子、イベント情報、諫早の歴史や美術について紹介しています。ぜひご覧いただき、美術・歴史館や諫早の美術・歴史をより身近に楽しむきっかけになればと思います！下記のいずれかの方法でご覧いただけます。

皆様のイイネ♥とフォロー、ご来館お待ちしております！

スマートフォンやタブレットにInstagramのアプリをダウンロードし、「i\_love\_bireki」で検索

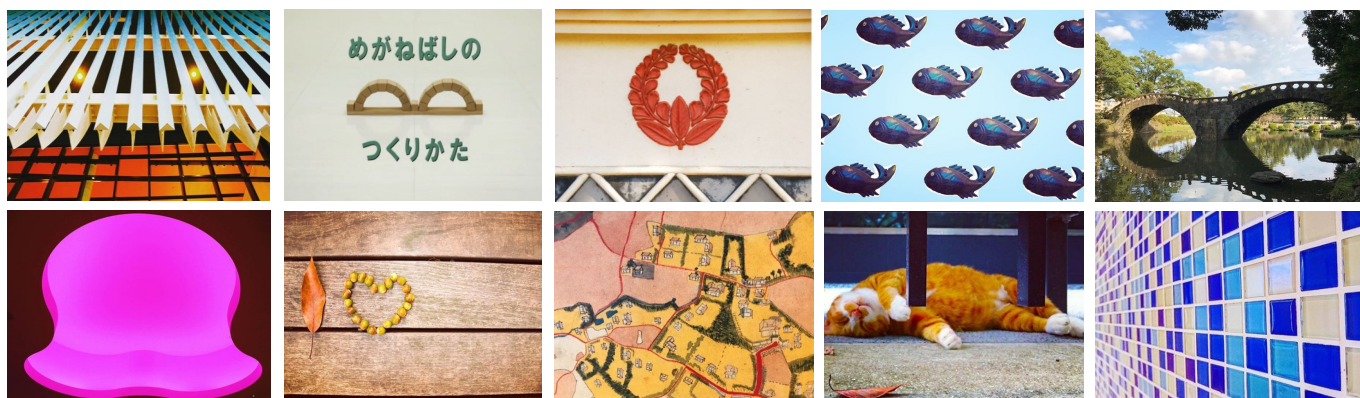
@i\_love\_bireki

諫早市美術・歴史館

スマートフォンや  
タブレットで  
QRコードを読み取る



Instagramを利用登録しない場合は、[https://www.instagram.com/i\\_love\\_bireki/](https://www.instagram.com/i_love_bireki/)へアクセスしていただくと閲覧可能です。 ※「イイネ」や「フォロー」は登録が必要です。



# いさはやの民謡

## VOL.4 のんのご節

諫早でよく耳にし、目にする民謡が「のんのご節」です。「皿踊り」ともいい、祝いの座や祭りに欠かせません。今では、「のんのご諫早まつり」として多くの市民に親しまれています。

「のんのご節」が諫早で歌われるようになったのは江戸時代中期以降からと考えられます。諫早で生まれた民謡かというところではなく、三重県の尾鷲（おわせ）節、さらには幕末あたりに流行った「のんのごさいさい節」が元歌です。

江戸時代、庶民の間ではお伊勢参りが盛んで、どこの村々からも一生に一度はと有志でお伊勢参りに出かけていました。それに参加できない人は、代参といって代わりにお参りしてきてもらっていました。お伊勢参りは庶民にとって領外に出かけられる大きな機会でした。こうした機会にそこで歌われていた「のんのごさいさい節」を覚えて、持ち帰ったものです。

この民謡は諫早だけでなくお伊勢参りの土産として肥後、熊本、宮崎など広い範囲へ伝えられ、土地の人々に受け入れられ、昭和はじめころまでは鹿島あたりでもよく歌われていました。「のんのご節」は「新地節」とともに今では諫早を代表する民謡となっていて、二枚一組の小皿を両手に持ち、カチカチと打ち鳴らして調子を取りながら踊ります。焼物で作られた小皿は、有田など焼物産地が近くにあったことと無縁ではなく、そこで作ったものを購入できるようになってから使うようになったもので、それ以前は札のようにしつらえた割竹二つを打ち合わせながら踊っていました。

### のんのご節

● 芝になりたや 箱根の芝に ヤーレ  
諸国諸大名に敷き芝に ノンノコサーイサーイ  
枝も栄えて ご城下もみえぬ ヤーレ  
おろし下されーの枝 ノンノコサーイサーイ  
ーの枝より 二の枝よりも ヤーレ  
三の小枝が邪魔となる ノンノコサーイサーイ  
ここの座敷は祝いの座敷 ヤーレ  
鶴と亀とが舞い遊ぶ ノンノコサーイサーイ  
あなた百まで わしゃ九十九まで  
ともに白髪のはゆるまで ノンノコサーイサーイ



と歌いますが、「のんのご節」は諫早市内でも地区により歌詞が少しずつ違ってきます。これもそのところに馴染んだ民謡となっているからです。

## 高城の史跡 Vol.3 古賀篤介先生頌徳碑

前回紹介した池松林一胸像より高城頂上への階段を登り、中段附近の左手の広場に石碑等が建立されています。今回は、一番手前にある古賀篤介(とくすけ)先生頌徳碑を紹介します。古賀篤介氏は学校長などを歴任された後、郷土史家として江戸時代の諫早家で一番の騒動であった諫早騒動(一揆)について『諫早義拳録』を出版、また天祐寺境内にある「諫早義拳殉難者之霊碑」などの建立に携われ、諫早における郷土史家の先覚者でした。碑の裏面には次の様に彫られています。

古賀篤介先生は慶応二年(1866)十月北高湯江山崎家に生まる 明治十八年(1885)七月長崎師範学校を卒業 ただちに森山小学校訓導 校長を歴任 大正十二年(1923)三月まで三十八年余の久しきに及ぶ 此の間終始一貫躬を以て子弟を導き 精勵刻苦創意工夫をこらし教育の刷新向上に尽さる 大正二年(1913)二月教育功勞者として文部大臣の效績を受け ついで奉任官を以て遇せらる 退職後 郷土史家として研さんを積み諫早義拳録正に郷土史の編述に努められ昭和三十二年(1957)十二月 九十有二の高齡を以て永眠さる 先生の崇高なる人格と高まいなる識見とは郷党一般の慈父として欽仰敬慕する処 茲に碑を刻して其の徳を頌する

昭和四十年一月吉日 翔雲書

台座裏面:諫早岡町石工橋本竹一



## 太田孝三 《転写立体》



《転写立体》1992年、アクリル・発泡スチロール・紙・転写 75×75×110mm 諫早市美術・歴史館蔵

卵の表面を覆い尽くす顔、顔、顔。日常見慣れたものが、見慣れないものとして目の前に現れたとき、そのズレが私たちの創造力を刺激します。下から見上げたり、上から見下ろしたり、じっと見ていると、逆に覗き見られているような…見れば見るほど作家の思惑に翻弄されてしまいます。

**太田孝三 (1957-2004)**

長崎県加津佐町生まれ。大分大学教育学部美術科卒業。佐賀大学教育学部美術専攻科修了。1988年第8回現代日本絵画展 朝日新聞社賞受賞。1989年'89日本海美術展 優秀賞受賞。転写を用い同一画面に複数の要素を混在させる作風を確立。1990年拠点を諫早市に移す。2004年逝去。

# 古文書の部屋

## 漢字の異体字

漢字の中には字の一部を省略したり、別の字に置き換えたりして表記するものがあります。これを「異体字」といい、意味は同じですが、くずし字の文の中で多く見られる以外に、現在でもたびたび目にする文字もいくつかあります。ここではそのいくつかを3つのパターンに分けてご紹介します。

例① 篇(へん)や旁(つくり)の位置が異なるもの。

忝(=松) 畧(=略) 羣(=群) 朞(=期) 岾, 岾(=崎)  
寫(=嶋) 焮(=秋) 味(=和) 鄰(=隣) 蕪(=蘇)  
…など

例② 一部が別の字に置き換わったり、複雑化または省略されたもの。

煑(=煮) 叡(=最) 扣(=控) 彡(=多) 舩(=船)  
玠(=珍) 旨(=旨) 穉(=秋) 賣(=売) 寶(=宝)  
圖(=囟) 當(=当) 崑(=喜) 澁(=渋) 逃(=逃)  
國, 圀(=国)  
…など

例③ 一見して形が大きく異なるもの。

承(=承) 无(=無) 埜(=野) 亼(=事) 昏(=紙)  
仝(=同) 𠂇(=婦) 𠂇(=靈) ケ, 个(=箇)  
…など

## 館企画展

## 千々石ミゲル墓所推定地出土遺物展



昨年、8～9月にかけて実施された同墓所の発掘調査結果や出土遺物を展示します。

期間／1月24日(水)～2月5日(月)

午前10時～午後7時※最終入場18:30

※毎週火曜は休館

会場／美術・歴史館[2階企画展示室]

観覧料／無料

<関連イベント>

## ★調査結果報告会①

「千々石ミゲル墓所推定地の墓石について」

期日／1月28日(日)午後1時30分～

講師／大石一久氏(大浦天主堂キリシタン博物館副館長)

## ★調査結果報告会②

「千々石ミゲル墓所推定地の発掘調査の成果から」

期日／2月4日(日)午後1時30分～

講師／田中裕介氏(別府大学教授)

※両イベントとも会場は、美術・歴史館

※定員各140人(先着順(開場:12時30分))

## 館講座

## 館長講座

とき／2月3日(土)午前10時30分～12時

ところ／美術・歴史館2階研修室

内容／民俗学者・宮本常一から学ぶ(2)

講師／鈴木 勇次(美術・歴史館長)

その他／受講料無料、事前の申し込み不要

## 館企画展

いさはやけでばり

## 諫早家出張 長崎表・浦手台場警備展



絵図・日記を通して、諫早家から見た江戸期の長崎港警備を紹介します。

期間／2月17日(土)～4月15日(日)

午前10時～午後7時※最終入場18:30

※毎週火曜は休館

会場／美術・歴史館[2階企画展示室]

観覧料／無料

「編集後記」

私事ですが、

先日、ポテコを食べていて奥歯が欠けました…

ポテコに奥歯が負けたというショックとともに、現在、苦手の歯医者者に足取りを重くして通院しているところです。

ところで、

先般、天正遣欧少年使節団の一人である千々石

ミゲルの墓と推定される墓所の発掘調査が行われ、副葬品とともに、歯を含む人骨片が出土しました。

副葬品を鑑定した専門家は一樣に「キリシタン遺物」との見解を、そして、歯の鑑定の結果、埋葬されていたのはミゲルの後妻とみられる女性の可能性が高いことが明らかになり、新たな発見とともに歴史ロマンがさらに大きく膨らんだそうです。

歯一片からでも歴史を紐解くきっかけになることに感心し、なんとなく歯は大事にしなければいけないなと思えました。

さて、美術・歴史館では、1月24日からこの「千々石ミゲル墓所推定地出土遺物展」を開催します。

ミゲルの人物紹介をはじめ、墓石拓本や今回が初となる「出土遺物」を展示します。

残念ながら、出土した歯の展示はありませんが、そこにはハツとする発見と驚きがあるかもしれません。

ぜひ、美術・歴史館へ足をお歯こびください。

(山本真)